

# エレベーター用インターホン

## E - 0 2 S V

## インターホン親機 取扱説明書

### 1 . 概 要

- 1.本機は、カゴ内にインタ - ホン子機、エレベ - タ機械室、管理室等に親機（6V）を設置し、非常時又は保守調整時に、親子間の連絡に用いるものです。  
また、付加機能として、外部設備内構成の無電圧 a 接点信号の入力により、表示灯を点灯させる事ができます。
- 2.本機はハンドセットによる同時通話です。
- 3.通話は、子機 1 台に対し親機 1 台が原則です。

### 2 . 取り扱い方法

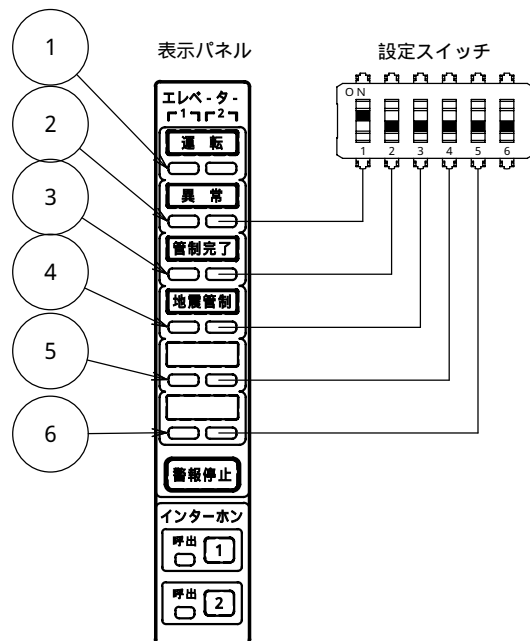
- 1.子機側で呼出スイッチを押すと、親機の被呼出ブザーが鳴動すると共に呼出のある呼出表示灯（アカ）が点灯します。  
ハンドセットを取り上げると被呼出ブザーの鳴動が停止して、呼出表示灯も消灯しハンドセットによる通話が始まります。
- 2.親機が子機を呼び出す時は、ハンドセットを取り選局ボタンを押してから音声呼出となります。
- 3."異常"表示灯などが点灯すると同時に警報ブザーが鳴動します。  
鳴動を止めたい場合は、警報停止スイッチを押すと鳴りやみます。  
(表示灯は信号の入力が解除されるまで点灯したままとなります。)  
(警報ブザーと呼出ブザーは同じ音色です。)
- 4.裏面の差し込み端子台の"HC/HA"はフックアップ(ハンドセット取上げ)接点です。  
ハンドセットを取り上げますと、フックスイッチと連動して、メーク接点を出力し、ハンドセットを戻しますと、接点出力がなくなります。  
"BRA/BRC/BRB"は警報リセット接点です。  
警報停止スイッチを押している間のみ、"BRA/BRC"間にメーク接点を出力し  
平常時及び警報停止スイッチを離すと"BRB/BRB"間にブレーク接点を出力します。
- 5.裏面のディップスイッチは、警報ブザー鳴動設定スイッチです。  
どの表示灯で警報ブザーを鳴動させるかを設定します。

### 3 . ディップスイッチ設定

本装置はディップスイッチにより、どの表示灯で警報ブザーを鳴動させるか設定を行うことができます。

#### - 1 . ディップスイッチ設定方法

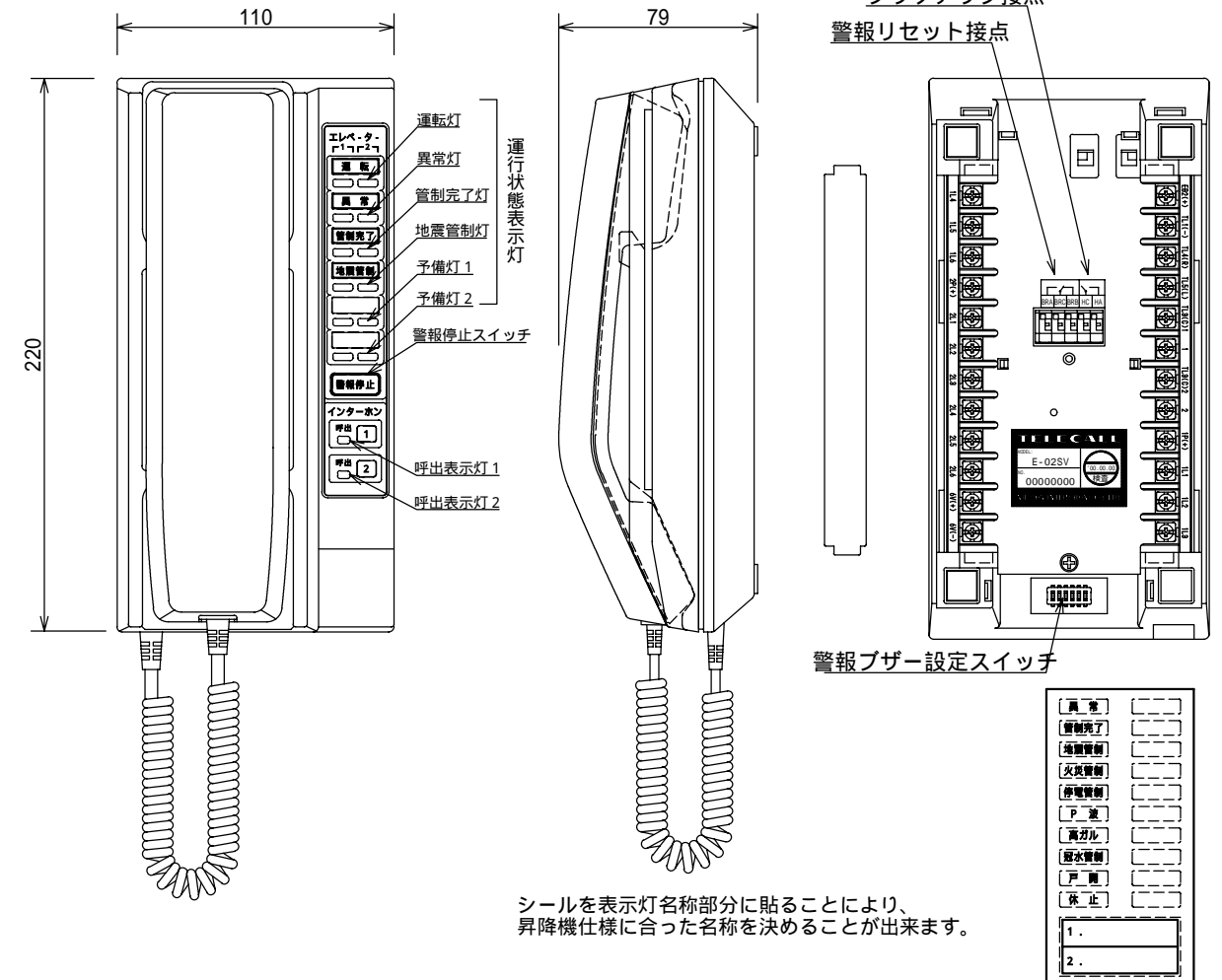
本装置のディップスイッチは下図のように各スイッチをON側又はOFF側に動かすことによって設定できます。



| スイッチ番号 | スイッチON時の動作内容             | 備 考    |
|--------|--------------------------|--------|
| 1      | にステータス信号が入ると警報ブザーが鳴動します。 | 出荷時設定済 |
| 2      | にステータス信号が入ると警報ブザーが鳴動します。 |        |
| 3      | にステータス信号が入ると警報ブザーが鳴動します。 |        |
| 4      | にステータス信号が入ると警報ブザーが鳴動します。 |        |
| 5      | にステータス信号が入ると警報ブザーが鳴動します。 |        |
| 6      | 本機では使用しません。              |        |

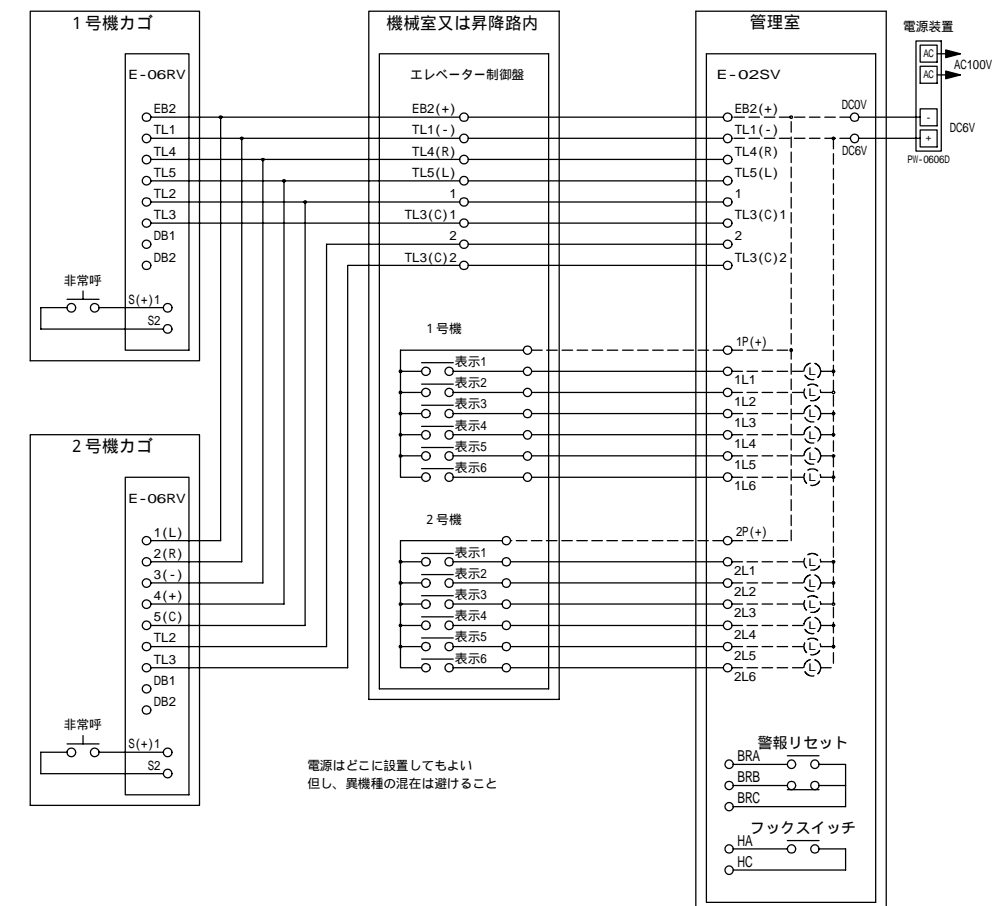
は、鳴動設定できません

### 4 . 外形図



表示灯名称シール（付属品）

### 5 . 機器間結線図



電源はどこに設置してもよい  
但し、異機種種の混在は避けること